

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称：CTを用いた下顎骨下縁皮質骨の厚さによる顎骨骨折のリスク評価（承認番号：EC19-009）

研究機関の名称： 学校法人日本大学（松戸歯学部・放射線学講座）

研究責任者： 教授・金田 隆

研究期間： 令和元年7月22日 ～ 令和6年7月21日

### 1. 研究対象者

日本大学松戸歯学部付属病院放射線科にて2008年4月から2018年3月にて転倒によって骨折疑いでMDCT撮影をした患者約500人

### 2. 研究目的・意義

過去の論文で、パノラマエックス線写真を用いて、下顎骨下縁皮質骨形態の3分類と下顎骨骨折のリスクを検討し、下顎骨下縁形態と骨折との間には高い相関があると報告されている。しかしながら、CTを用いた詳細な下顎骨下縁皮質骨の形態と下顎骨のリスク評価の報告は乏しい。今回の研究はCTを用いて下顎骨下縁皮質骨の厚みを測定して下顎骨骨折のリスクを明らかにすることを目的とします。

### 3. 方法

診療録(カルテ)の画像データを用いて、患者の下顎下縁皮質骨の厚さを2人の口腔放射線技師によって、下顎骨の両側、オトガイ孔の遠位でCTによって測定する。顎骨骨折の有無による患者の下顎皮質骨の平均厚さを比較していきます。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

情報：診療録情報（年齢・性別・CT画像データ）

### 5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・放射線学講座・教授・金田 隆

添付 B-1 Ver. 1.0(20190401)

電話番号： 047-360-9418